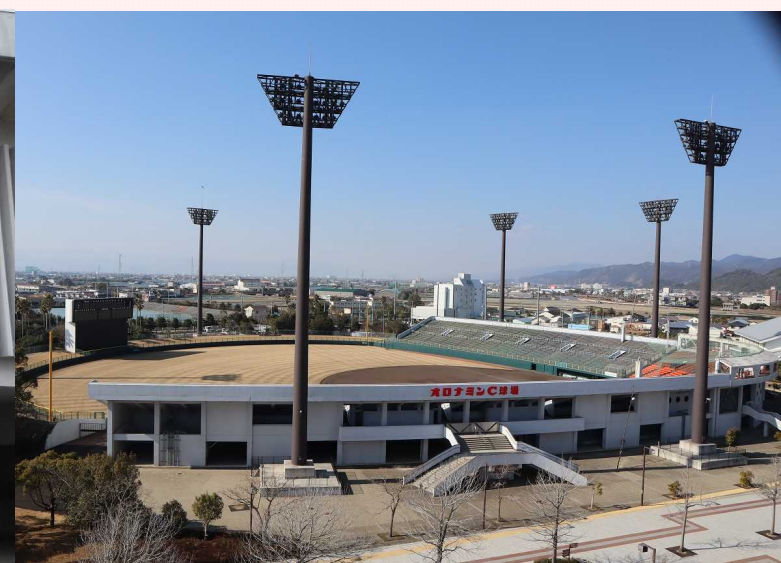
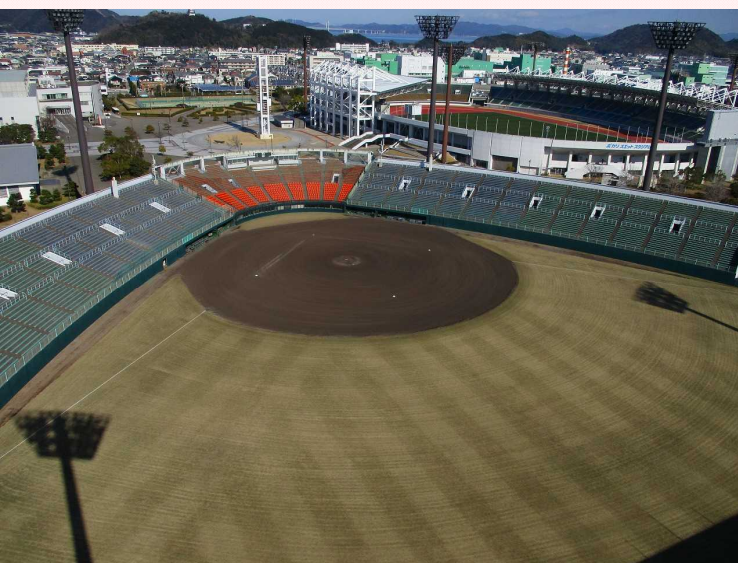


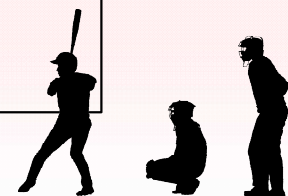
第1回徳島県鳴門総合運動公園野球場 の在り方検討会議



日時：令和3年12月27日（月）13時から
場所：徳島県庁10階 大会議室



- 1 鳴門総合運動公園の現状について
 - 1) 公園の整備経緯
 - 2) 各施設の利用状況
 - 3) 防災上の位置づけ
- 2 県内における主な野球場の状況について
 - 1) 各球場の概要
 - 2) オロナミンC球場の利用状況
 - 3) オロナミンC球場の主要年表
 - 4) オロナミンC球場の役割や位置づけ
- 3 オロナミンC球場の現状について
 - 1) オロナミンC球場の施設概要、整備状況
 - 2) オロナミンC球場の長寿命化計画
 - 3) オロナミンC球場の老朽化等の状況
- 4 オロナミンC球場における課題について
 - 1) オロナミンC球場における利用及び運用上の課題

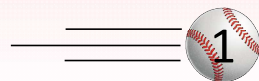


1-1 鳴門総合運動公園の現状



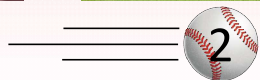
沿革

- | | |
|----------|--------------------------|
| 昭和46年 3月 | 補助競技場完成 |
| 昭和46年 5月 | 陸上競技場完成
(第1種公認) |
| 昭和48年12月 | 野球場完成 |
| 昭和49年 5月 | 野球場照明設備完成 |
| 昭和53年11月 | 庭球場完成 |
| 昭和55年 2月 | 弓道場完成 |
| 3月 | 武道館完成 |
| 平成 2年11月 | 体育館完成 |
| 平成 3年 1月 | 投擲練習場完成 |
| 平成 7年 4月 | 球技場改修工事
(旧投擲練習場) |
| 平成11年 2月 | 弓道場・遠の場完成 |
| 平成20年 2月 | 野球場耐震改修完了 |
| 平成30年 2月 | 野球場照明改修完了
(LED化・7°対応) |



ポカリスエットスタジアム（陸上競技場）

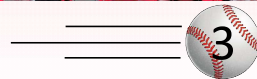
- ・ 県内唯一の「**第1種公認**」**陸上競技場**であり、平成5年の東四国国体のメイン会場。
- ・ 現在トラック改修工事を実施中、**世界陸連「Class 2認証」**を取得予定であり、来夏には「インターハイ」のメイン会場となる予定。
- ・ 県内唯一の「**J1基準**」を満たした**スタジアム**であり、「Jリーグ・徳島ヴォルティス」のホームスタジアム。



1-2 鳴門総合運動公園の現状

アミノバリューホール（体育館）

- 最大1,500人収容可能な、**県下最大規模**の体育館。
- 高校総体をはじめとする学生大会や
「Vリーグ」 公式戦、**「Tリーグ」** 公式戦が開催される施設。
- 床改修及び照明改修工事を行い、本年3月よりリニューアルオープン。
オリンピック・ドイツ代表ハンドボールチームが事前キャンプを開催。



1-2 鳴門総合運動公園の現状

ソイジョイ武道館（武道館）

- 最大500人収容可能な、**県下最大規模**の武道館。
- 平成29年度に**更衣室等を改修**し、外国人の方にも使いやすい施設へ。
- 令和元年の世界柔道開催時には、**ドイツ代表チームが合宿**を行った。



球技場

- 平成30年に**全国トップクラスの天然芝へと全面張替**を行い、冬期でも常緑の施設である。
- 令和元年のラグビーW杯開催時には、**ジョージア代表チームが合宿**を行った。



（ミルトン・ヘイグHCより「ワールドクラスの芝生」とのご評価を頂いた。）



1-2 鳴門総合運動公園の現状

弓道場

- ・県下で「遠的」が行える公的施設は、「科技高・アーチェリー場」と「鳴門・弓道場」の2施設。
- ・県内での主要な弓道競技の大会が開催されている。



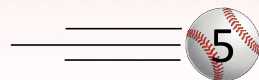
第二陸上競技場

- ・「第3種公認」陸上競技場であり、多くの方が日々、陸上競技の練習に取り組んでいる。



庭球場

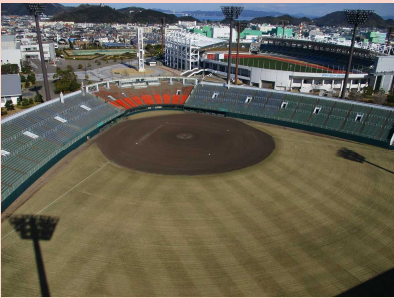
- ・4面のコート有し、日々多くの県民が利用している。

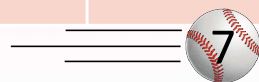


1-3 鳴門総合運動公園の防災上の位置づけ



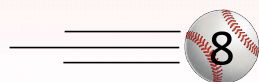
2-1 県内における主な野球場の状況

	オロナミンC球場	むつみスタジアム	J Aアグリあなん スタジアム	蛇王運動公園野球場 (蛇王球場)	吉野川運動公園野球場 (池田球場)
					
所在地	鳴門市撫養町	徳島市庄町	阿南市桑野町	海陽町浅川	三好市池田町
規 格	両翼99.1m 中堅122m	両翼100m(拡張中) 中堅116m	両翼100m 中堅122m	両翼95m 中堅120m	両翼 92m 中堅120m
グラウンド	内野 黒 土 外野 天然芝	内野 黒 土 外野 天然芝	内野 黒 土 外野 天然芝	内野 黒 土 外野 天然芝	内野 黒 土 外野 天然芝
収 容 人 員	約16,500人(実数) (18,600人(公称))	15,976人(公称)	約5,000人(公称)	約300人(公称)	約1,000人(公称)
夜 間 照 明	6基 (内野2,000lux, 外野1,200lux)	4基 (内野500lux, 外野300lux)	6基 (内野1,500lux, 外野800lux)	なし	4基 (内野300lux, 外野100lux)
主 な 大会等	・全国高校野球選手権徳島大会 ・県高校野球秋季大会 ・四国アイランドリーグ公式戦 ・高松宮杯全日本軟式野球県予選 ・西日本軟式野球大会県予選 ・韓国フィムン高校合宿 など	・四国アイランドリーグ公式戦 ・県中学総体(軟式野球) ・マスターズ甲子園徳島大会 ・県学童軟式野球選手権大会 ・こども野球のつどい など	・四国アイランドリーグ公式戦 ・西日本500歳野球大会 ・マスターズ甲子園徳島大会 ・学童軟式野球連盟阿南大会 ・阿南市中学総体(軟式野球) など	・四国アイランドリーグ公式戦 ・県高校野球協賛大会(南部ブロック大会) ・海部郡中学校新人大会 ・まぜのおか杯 など	・四国アイランドリーグ公式戦 ・県高校野球協賛大会(西部ブロック大会) ・みよし軟式野球連盟主催大会 ・篇文也杯 など



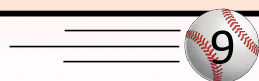
2-2 オロナミンC球場の利用状況

年度	高校生以下		一般		計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
R2	90件	17,962人	39件	2,757人	129件	20,719人
R元	109件	41,552人	37件	6,080人	146件	47,632人
H30	100件	39,003人	52件	9,991人	152件	48,994人
平均	100件	32,839人	42件	6,276人	142件	39,115人



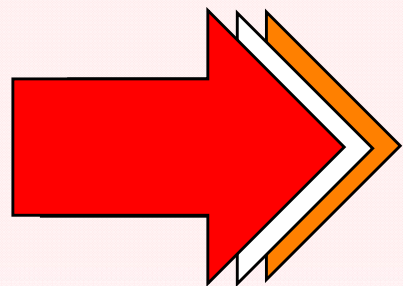
2-3 オロナミンC球場・主要年表

	施設関係	NPB（日本プロ野球機構）	アマチュア・高校野球・独立リーグなど
1973(S48)年	野球場完成		
1974(S49)年	照明設備完成	近鉄×中日（オープン戦） 阪神×太平洋（オープン戦）	高校野球(夏・決勝)を開催 (阿南工業×鳴門→南四国大会出場)
1975(S50)年		日本ハム×阪急（公式戦）	
1976(S51) ～1980(S55)		日本ハム（春季キャンプ）	1979(S54)夏・決勝を3年ぶりに開催 (池田×鳴門商→池田・甲子園準優勝)
1992(H4)年	放送・照明設備改修	阪神×オリックス（オープン戦）	
1993(H5)年			東四国国体（軟式野球）
1994(H6)年			9年ぶりに高校野球(夏・決勝)を開催 (小松島西×新野→松西・甲子園3回戦進出)
2003(H15)年	電光掲示板改修		
2005(H17)年	グラウンド拡張 NPB仕様	阪神×西武（オープン戦）	四国アイランドリーグ発足 (インディゴソックスホームゲーム開催)
2007(H19)年	耐震改修		
2013(H25)年	電光掲示板改修(BSO)	阪神×中日（オープン戦）	
2017(H29)年	照明塔改築 スピードガン設置 NPB仕様		
2019(R元)年			独立リーグ・グランドチャンピオンシップ (インディゴソックス日本一)



2-4 オロナミンC球場の役割や位置づけ

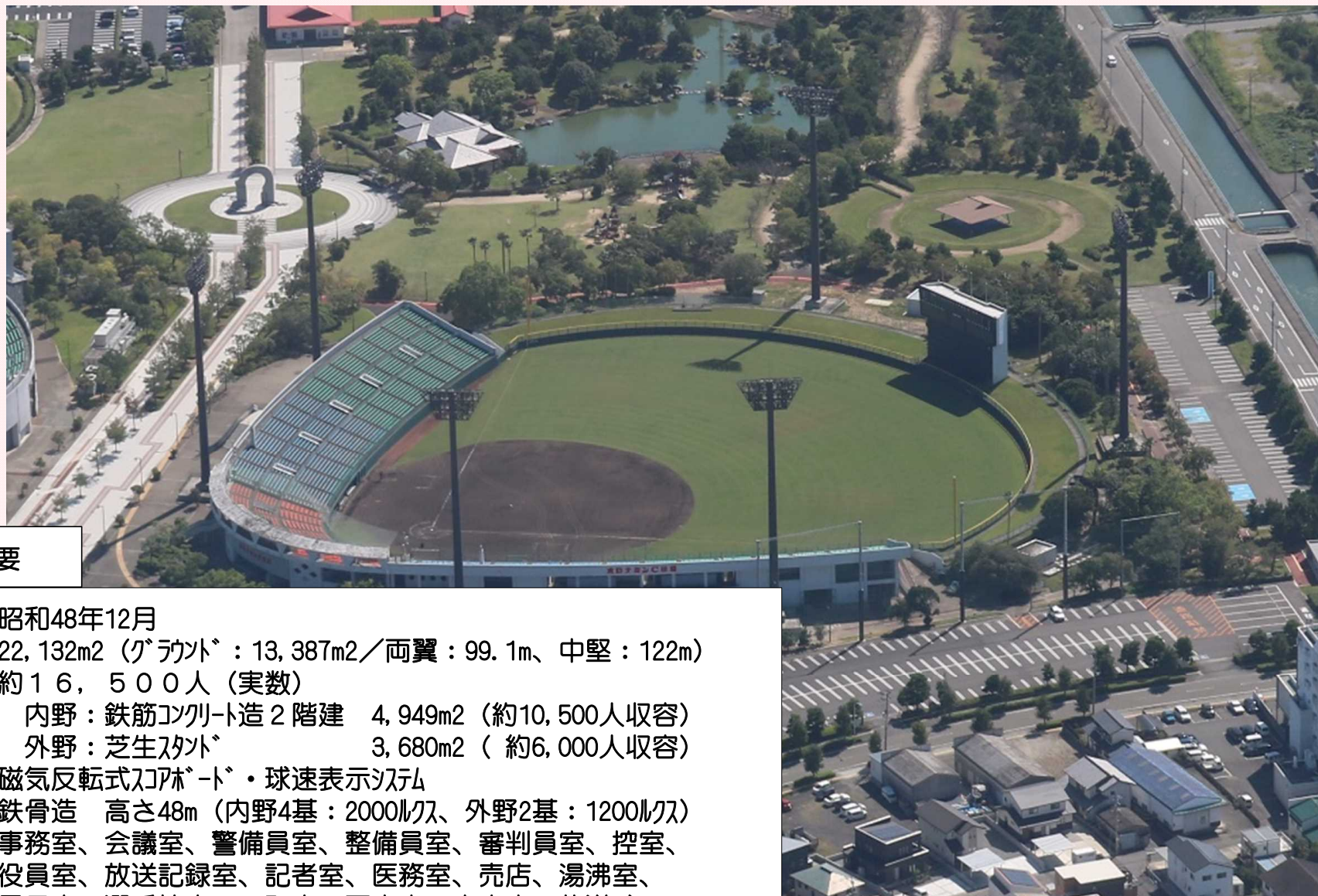
- 「プロ仕様の広さ」(公認野球規則)のグラウンド、
「プロ仕様の照度」(旧JIS規格)の照明設備を備えた施設であり、
観客席数などのも含め、**県下随一の施設水準**である。
- **夏の全国高校野球選手権徳島県大会の決勝戦**が、
平成6年以降、毎年開催されている。
- 過去には**NPBの「公式戦」**や**「オープン戦」**が開催され、
近年でも、強豪社会人チームの「春季キャンプ」が行われている。



本県を代表する野球場である。



3 オロナミンC球場の現状



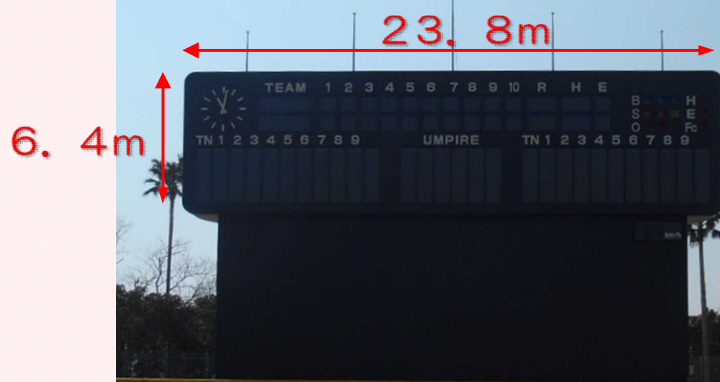
施設概要

設置年度 昭和48年12月
施設面積 22,132m² (グラウンド : 13,387m² / 両翼 : 99.1m、中堅 : 122m)
収容人員 約16,500人 (実数)
内野 : 鉄筋コンクリート造 2階建 4,949m² (約10,500人収容)
外野 : 芝生グラウンド 3,680m² (約6,000人収容)
スコアボード 磁気反転式スコアボード・球速表示システム
照明設備 鉄骨造 高さ48m (内野4基 : 2000ℓ/ℓ、外野2基 : 1200ℓ/ℓ)
付属施設 事務室、会議室、警備員室、整備員室、審判員室、控室、役員室、放送記録室、記者室、医務室、売店、湯沸室、展示室、選手控室、シャワー室、更衣室、貴賓室、放送ブース



3-1 オロナミンC球場のこれまでの整備

H14年度 スコアボード改修工事

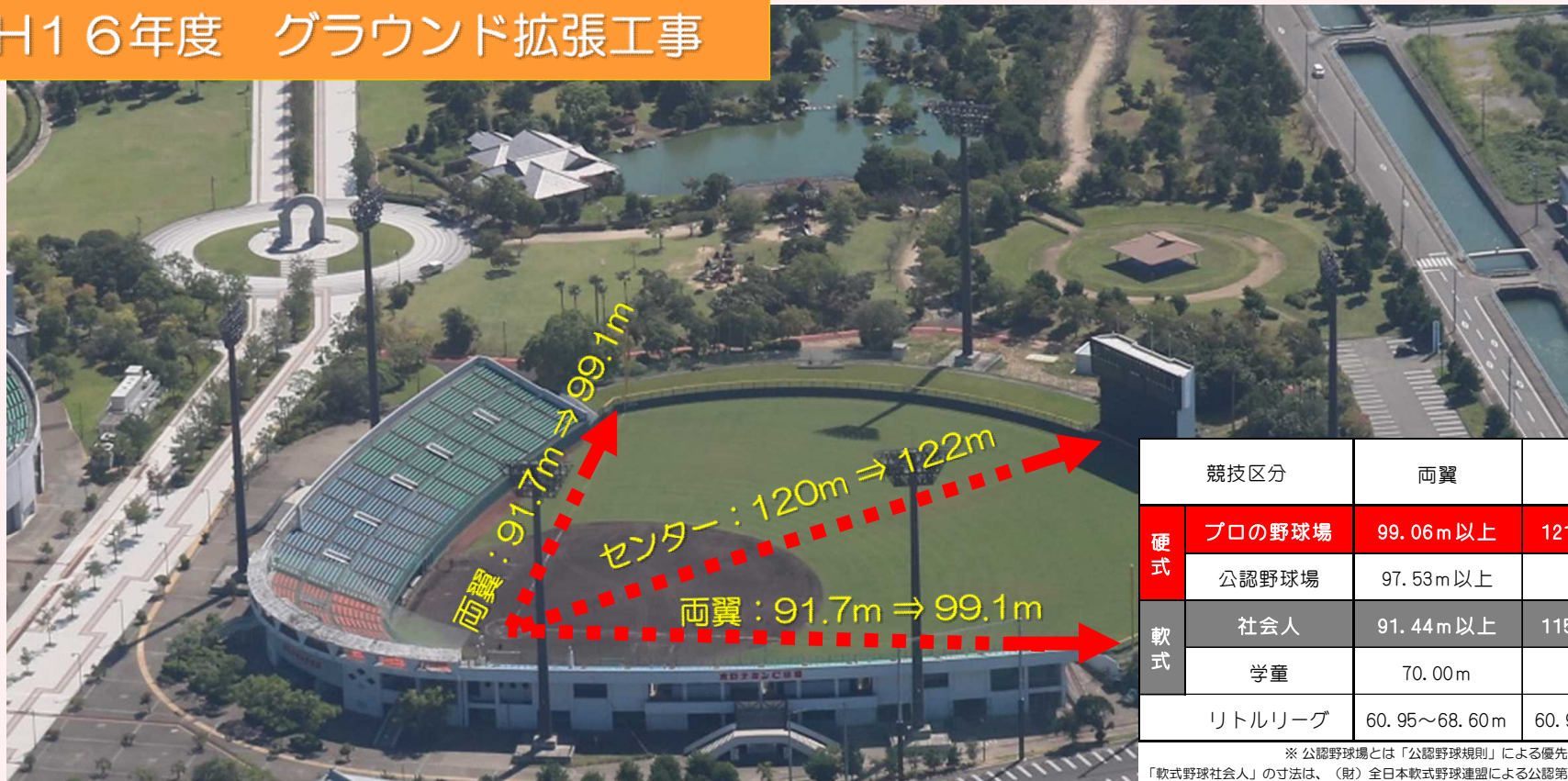


改修年度 平成15年3月
施設規模 W: 23.8m、H: 6.4m
スコアボード 手書き式 → 磁気反転式



3-1 オロナミンC球場のこれまでの整備

H16年度 グラウンド拡張工事



改修前

「両翼91.7m、センター120.0m」

社会人軟式野球仕様

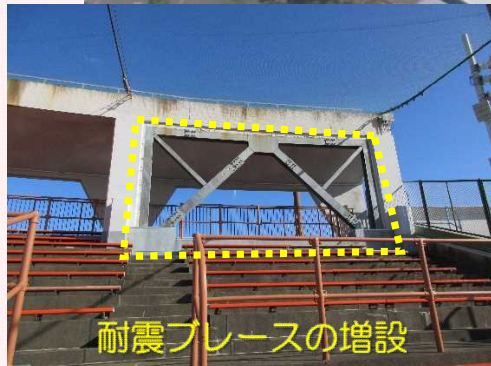
改修後

「両翼99.1m、センター122.0m」

プロ野球(NPB)公式戦が可能

3-1 オロナミンC球場のこれまでの整備

H19年度 スタンド耐震改修工事



3-1 オロナミンC球場のこれまでの整備

H27~29年度 照明塔改築工事



競技区分		内野照度 (ルクス)	外野照度 (ルクス)
硬式	プロ仕様	2,000	1,200
	公式競技	1,500	800
	一般競技	750	400
軟式	公式競技	750	400
	一般競技	500	300

改修前

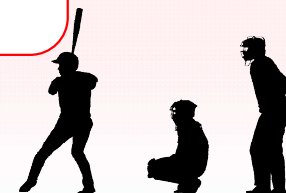
「内野500ルクス、外野300ルクス」

軟式野球一般競技仕様

改修後

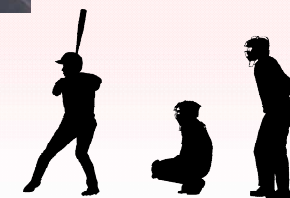
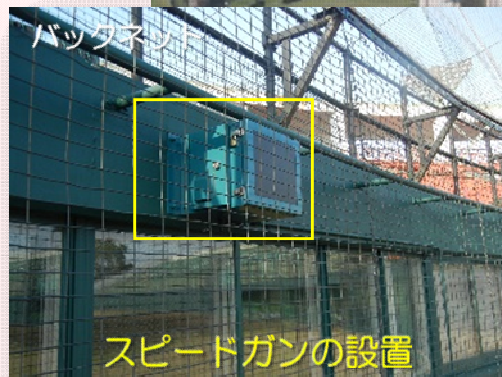
「内野2000ルクス、外野1200ルクス」

プロ野球(NPB)ナイター公式戦が可能



3-1 オロナミンC球場のこれまでの整備

H29年度 球速表示器設置工事

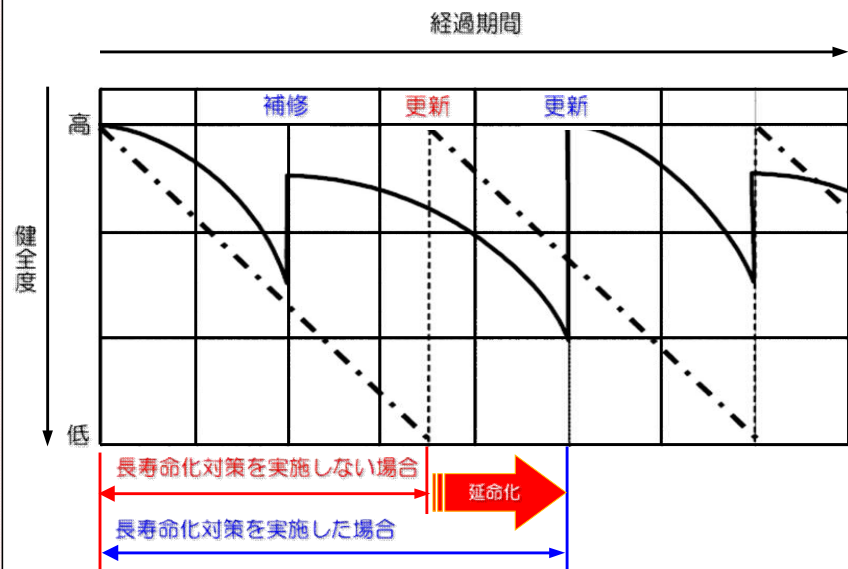


3-2 オロナミンC球場の長寿命化計画

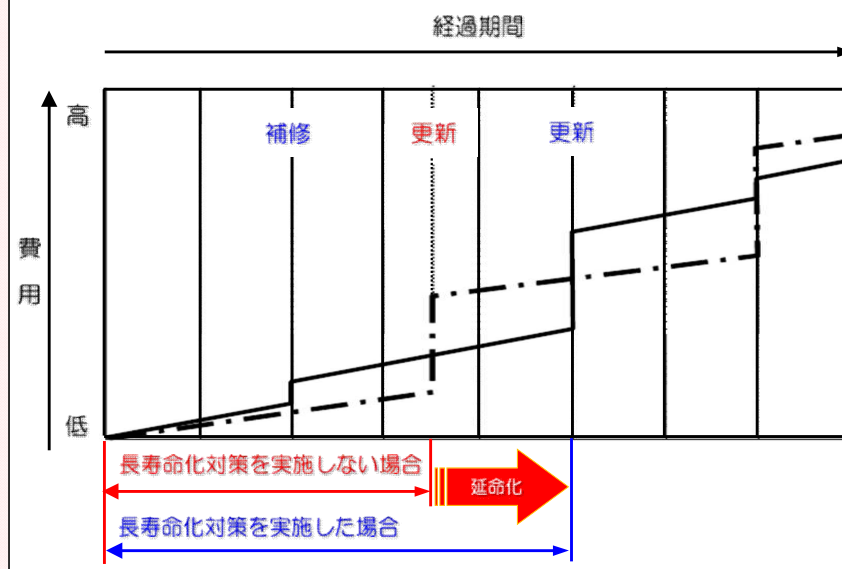
公園施設長寿命化計画とは

公園の施設や遊具等について、公園利用者のさらなる『**安全性確保**』及び『**ライフサイクルコスト縮減**』の観点から、適正な施設の点検や計画的な修繕、改修、更新を行い、施設の延命化を図る

長寿命化対策実施の有無による劣化推移の比較

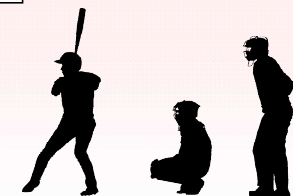


長寿命化対策によるライフサイクルコスト縮減効果



【凡 例】

— 長寿命化対策を実施した場合のモデルケース（予防保全型）
- - - 長寿命化対策を実施しない場合のモデルケース（事後保全型）

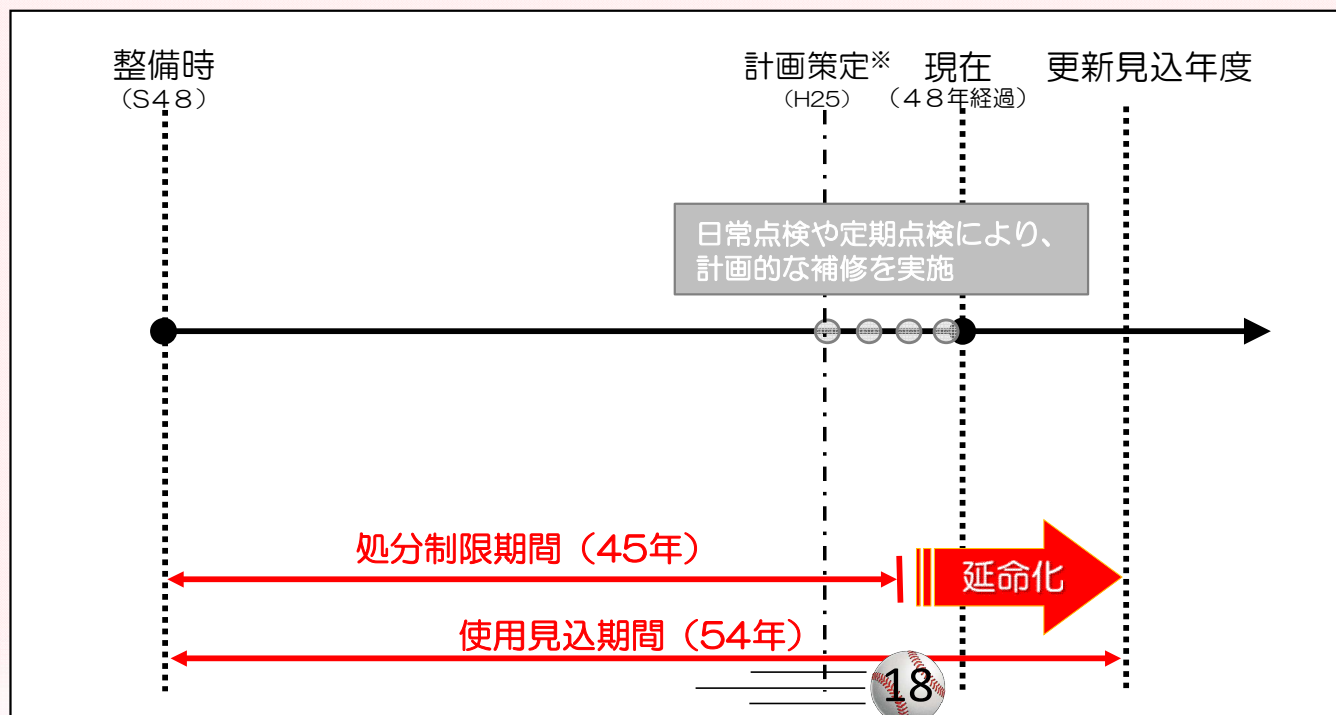


3-2 オロナミンC球場の長寿命化計画

オロナミンC球場における長寿命化計画

設置年度	1973年（昭和48年）
経過年数	48年
管理類型	予防保全型※
処分制限期間	45年（2018年）
使用見込期間	54年（処分制限期間×1.2：2027年）

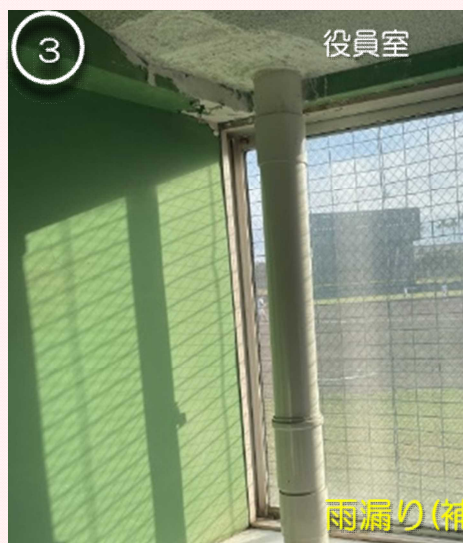
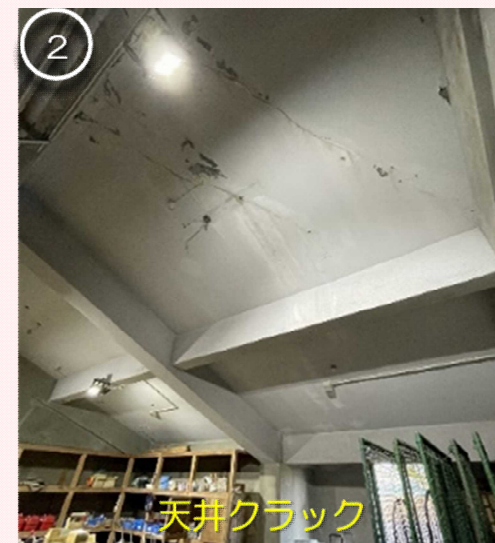
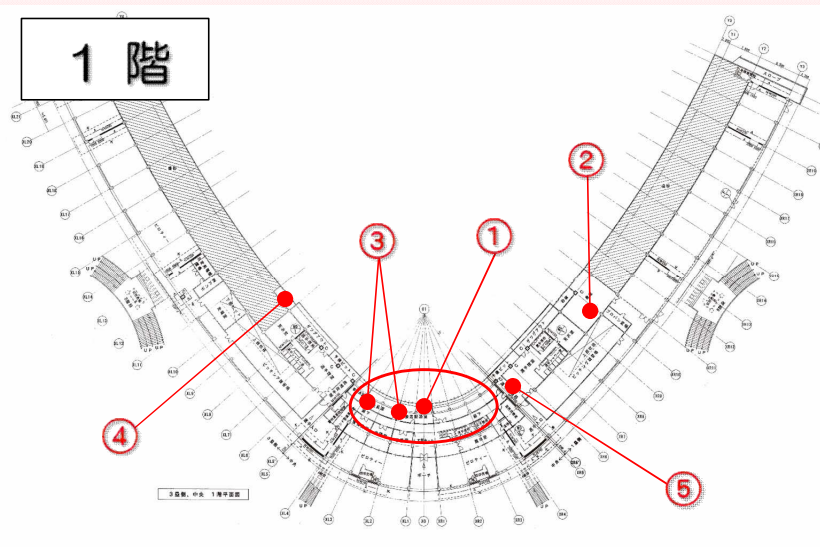
※計画的な補修・更新を行い、公園施設の機能保全に支障となる劣化や損傷を未然に防止し、施設の延命を図る管理方法



※平成24年度に、国が「公園施設長寿命化計画策定指針（案）」を作成



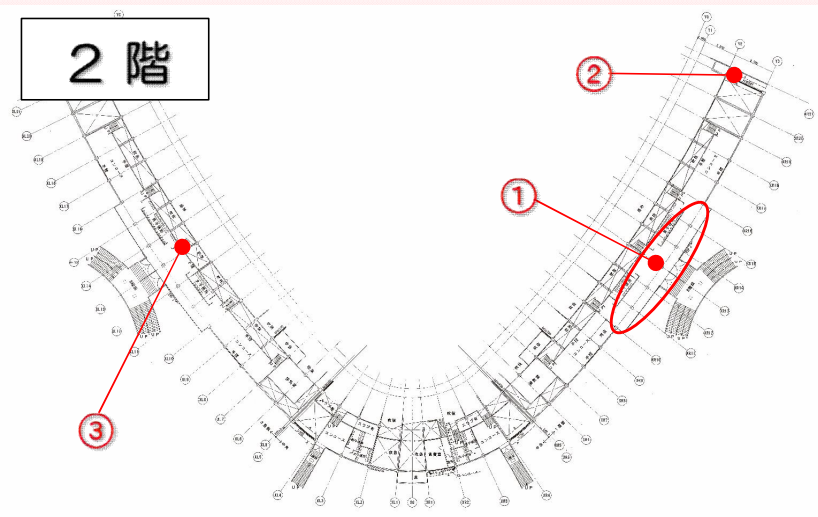
3-3 オロナミンC球場の老朽化等の状況



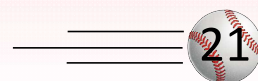
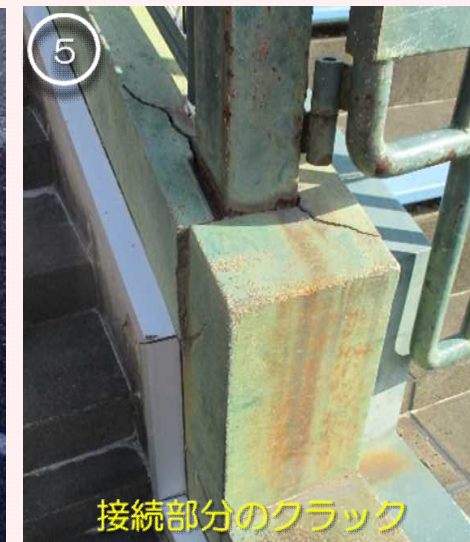
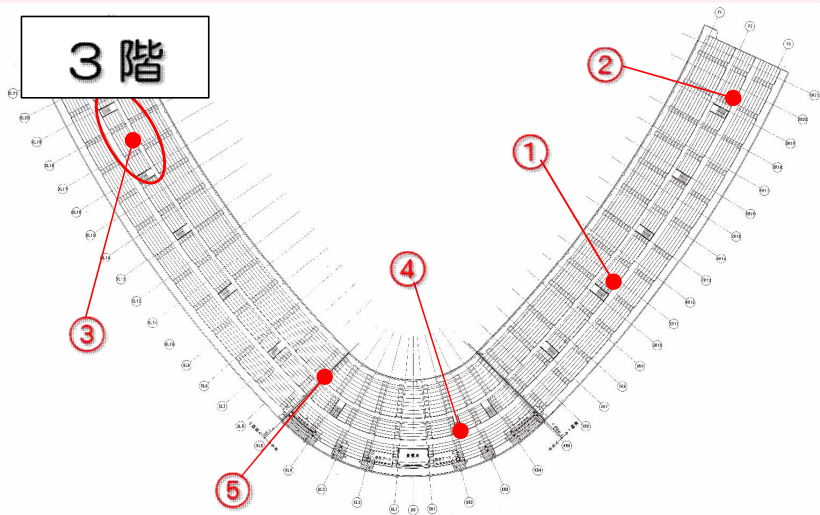
※ 写真：令和3年12月撮影



3-3 オロナミンC球場の老朽化等の状況



3-3 オロナミンC球場の老朽化等の状況



3-3 オロナミンC球場の老朽化等の状況

オロナミンC球場における健全度調査結果

※ 健全度調査：令和3年12月実施

施設の現状

- ・鉄筋のかぶり不足により、鉄筋が腐食し、コンクリートの剥落やクラックが発生
- ・スタンド間における接続部の緩衝材の落下や通路の傾きなど、躯体に変状が発生
- ・バックネットや鉄製扉など鋼材に腐食が発生
- ・全体的に老朽化が進行

健全度判定結果

ランク	評価基準	施設の状態
A	全体的に健全	健全である
B	部分的に劣化が進行し、劣化部分の定期的な観察が必要	定期的な観察が必要
C	全体的に劣化が進行し、利用を続けるには部分的な補修、若しくは更新が必要	建替えの検討が必要
D	施設の利用禁止や緊急な補修若しくは更新が必要	直ちに施設利用を禁止



＜施設利用上の課題・問題点＞

- ダッグアウトが狭い（奥行きがない）
- ダッグアウトにおける熱中症対策
- 次試合出場チームの控室やアップ場所がない
（室内アップ場が必要）
- ブルペンの天井が低い。



＜施設利用上の課題・問題点＞

- ・ 審判室、役員室、記者室等の各部屋における雨漏り
- ・ 控室、役員室等各室に空調設備が必要
- ・ 切符売り場が狭く利用しにくい
- ・ 正面玄関タイルが雨天時等にすべり危険

など



4-1 オロナミンC球場における課題

観客等利用エリア

<施設利用上の課題・問題点>

- 内野スタンドに常設の**防球フェンス**が必要
- **バリアフリー対応**が十分でない
(スロープが一塁側にしかなく、エレベーターもない)
(車いす対応席が一塁側にしかない)
- 授乳やおむつ交換等が出来る**多目的室**が必要
- **スタンドに屋根**がなく、夏場や雨天時の観戦が不便

など

